

■黒田清隆 軍人政治家。〈箱館戦争〉の敵将榎本武揚を用いて北海道開拓。酒乱でトラブルも、薩派の領袖の役割。

くろだきよたか

勲進帳初演・1840＝ 薩摩国鹿兒島城下に最下層の武士の子として生まれた。

阿部正弘首座1845＝ 5歳：

北斎没・・・1849＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝13歳：

五ヶ国条約・1858＝18歳：

桜田門外変・1860＝20歳：

西郷隆盛、大久保利通の知遇を得て、

薩摩藩士密航1865＝25歳： 坂本竜馬らとともに薩長連合に尽力し、世に知られる。

大政奉還・・・1867＝27歳：

明治維新・・・1868＝28歳： 鳥羽・伏見の戦に参加、次いで北越征討軍参謀として、長岡城の攻撃、庄内藩の処理にあたり、

戊辰戦争終・・・1869＝29歳： 箱館戦争にも参謀として活躍し、その際、敵将榎本武揚から「海律全書」を託されたこともあって、榎本助命を主張し実現。外務権大丞、ついで兵部大丞となる。

初の日刊新聞1870＝30歳： *開拓使次官に任ぜられ、樺太の現状を見て、北海道の開拓殖産および教育の重要性を認識して建議、

廃藩置県・・・1871＝31歳： 渡米して、開拓の指導者としてケプロンを招聘、松本十郎、榎本らの助言協力の下に、クラークで名高い札幌農学校の設立、士族救済も兼ねた屯田兵制度の導入など積極的な政策を展開する。

明治6年政変 1873＝33歳：

佐賀の乱・・・1874＝34歳： 陸軍中將に進み、ついで参議兼開拓長官に昇る。

初の民間工場1875＝35歳： 榎本を特命全権公使として、樺太・千島交換条約が結ばれ、ロシアとの問題が解消。

三つの反乱・1876＝36歳： *江華島事件が起こるや特命全権公使を命ぜられ、修好条約(日朝修好条規)の締結に力を尽くす。

西南戦争・・・1877＝37歳： 西南戦争では鉦討参軍として活躍。

大久保暗殺・1878＝38歳： 酒乱のなかで'不倫あり'と正妻を斬殺、愛人を妻とし、新聞種となるも、政府が発禁とする。寒冷地での技術などの実態を知るためロシアに渡り、現地の建築モデルに丸太学校が建設される。

明治14年政変1881＝41歳： 開拓使官有物私下問題に端を発する政変(明治14年の政変)により、内閣顧問の閑職に追われるが、

大久保なき後の薩派の領袖としての地位は確保し、

内閣発足・・・1885＝45歳：

初の対等条約1888＝48歳： *内閣総理大臣となるも、

帝国憲法発布1889＝49歳： 条約改正の失敗により辞任。

日清戦争始・1894＝54歳：

日清戦争終・1895＝55歳： 枢密院議長に任ぜられ、

壮年時には薩長間の軋轢に私生活上の不幸が重なり、ときに狂態を演じることもあったが、晩年は元老としてその任務をまっとうして、

ビア/国産化・1900＝60歳： 没した。